

日本YMCA同盟 能登半島地震被災地支援初動報告



ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
臨時役員会（2024年1月28日）
西日本区担当主事（YMCA同盟）有田征彦

能登半島地震被災地支援活動初動について

- 1月1日 16時50分能登半島地震発生
1月2日－3日 全国YMCA被害状況確認、金沢・富山YMCA会員、職員安否確認
1月5日 能登半島地震YMCA緊急支援募金開始
1月7日（先遣隊）石川県庁訪問、金沢YMCA、日本基督教団金沢教会等訪問
1.5次避難所開設準備、その後、内閣府より避難所アドバイザー要請



1月7日－9日1.5次避難所開設支援（金沢市内） 1月11日 - 1月末（第2陣～）まで避難所アドバイザー派遣



能登半島地震被災地支援活動初動について

1月8日 富山YMCAから、富山YMCA車両にて富山、東京各1名、同盟2名で七尾市、清水ワイズ、教団七尾教会、七尾聖書教会訪問。輪島市、輪島聖書教会訪問
熊本球磨村避難所運営協働したピースボートより、輪島での避難所運営要請



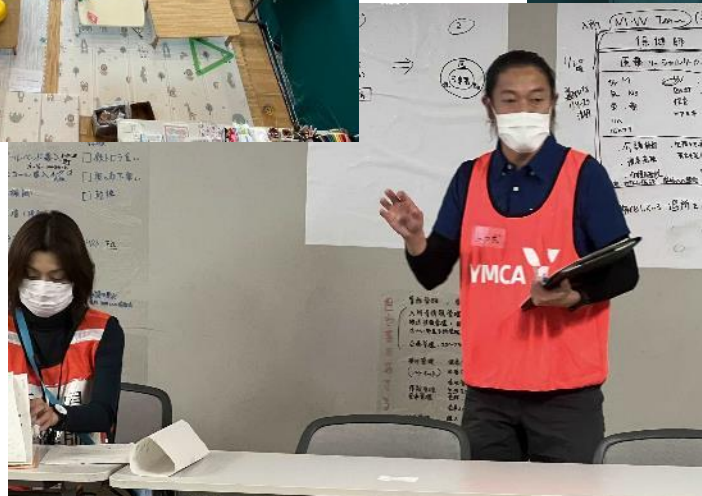
金沢市1.5次避難所運営アドバイザー

1月11日 内閣府から再度の要請を受け、金沢1.5次避難所、運営アドバイザーを継続中
(派遣スタッフ) *派遣順

山根一毅（大阪）、石橋英樹（同盟）、松田康之（元神戸職員）、堀越祥浩（仙台）
大久保和生（熊本）、中村賢次郎（熊本）、石田 司（奈良）、福田 樹（名古屋）
皆見治男（熊本）、村上祐介（ぐんま）

・ 2月以降の要請もあり、現在検討中

県職員へのアドバイス、避難所環境整備、各団体の調整や運営組織化などの役割を担っている。



輪島市 町野小学校・東陽中学校避難所運営支援（東京YMCA）

- 1月8日 熊本球磨村避難所運営協働したピースポートより、輪島での避難所運営要請
1月17-20日 東京YMCA3名、富山YMCA1名、島田氏（富山ワイズ）で現地輪島を再視察
1月24日～ 東京YMCA中心に輪島市 町野小学校・東陽中学校避難所運営支援を開始
駐在1名とスタッフ2名程度（リレー形式）で活動中（～2月末）



全国YMCA 能登半島地震被災地支援 概要



全国YMCA被災地支援活動の概要

- ①金沢1.5次避難所運営アドバイザー
2月以降も延長、2～3名のスタッフを
リレー形式で派遣中
- ②輪島市避難所運営サポート
東京YMCAを中心に避難所
(2ヶ所／町野小学校・東陽中学校)
運営支援中
- ③富山YMCA被災者支援活動
富山YMCAを中心に被災した子どもたち
のリフレッシュプログラムや保護者や
シニア向けの健康体操など被災した
人びとに笑顔が広がる活動を検討

7. 能登半島地震被災地支援活動初動について

- ・ 半島という地形で南から徐々に先端の珠洲、輪島に行く道路は悪路、雪、凍結水、電気が遅れている地域が多い。
- ・ ボランティア、スタッフを安全に送り、生活する環境がかなり厳しい状況。
- ・ 行政、復旧業者も拠点がなく金沢市や富山市内から通う状態が多く道路の規制。現地での支援活動時間が短いなどの諸課題。
- ・ 現時点、自立型や技術系の災害専門のボランティア団体90団体が現地で活動。
- ・ 現状、災害弱者支援の医療福祉系専門職などの人命救助、維持のフェーズ。
- ・ 七尾市や志賀町では一部ボランティア受入れ開始
能登空港は27日、（羽田⇄能登便）再開（週3回）
- ・ 輪島市の行政職の90%以上が全半壊という状況、子どもを広域避難、高齢者や職員家族、ご本人も避難所から仕事に向かう状況。
- ・ 一般ボランティア本格的に入るのは、ある程度のインフラが整備される2月以降ぐらいのイメージか。

①賛育会・日本キリスト教奉仕団の支援募金は全額YMCA寄付

賛育会は今後の派遣等要請があれば、協力予定。

②日本YWCAとして支援募金を開始。YMCAの活動支援を寄付先として検討

③アマゾン、コストコ等、企業からの物資支援協力及び、心のケア、被災地でのプログラミング等へのプロジェクト型寄付を検討。

